

# 2020年 APAC 会議参加報告

独立行政法人製品評価技術基盤機構  
認定センター (IAJapan)

## 1. はじめに

2020年APAC会議は、アブダビで開催される予定であったが、COVID-19感染拡大を受け、すべての会議がオンライン形式で開催された。

## 2. 開催日程

- 9月29日 APAC 技術委員会1 (Technical Committee 1)
- 10月2日 APAC 技術委員会2 (Technical Committee 2)
- 11月24日 APAC能力強化委員会 (Capacity Building Committee)
- 12月 2日 APAC広報委員会 (Communications and Promotion Committee)
- 12月10日 APAC総会 (APAC General Assembly)

## 3. 会議の概要

各委員会における主な決定事項および議論の内容は以下のとおり。総会では、急遽オンライン形式で開催されたこともあり、各委員会からの報告が中心で、重要な決議事項はなかった。

### 3-1. APAC 広報委員会 (Communications and Promotion Committee)

○ILAC 及び IAF の広報関連の活動報告 (WAD2020 への取組結果、今後の予定)

WAD2021 テーマは、「Accreditation: Supporting the implementation of SDGS」

○今後のアクションプラン (2021 年実施予定のもの)

一般向け情報

- ・ APAC WEB サイトのコンテンツ修正
- ・ ILAC とのリンク、ソーシャルメディアとして何がよいかの検討。
- ・ 新規コンテンツ作成 (動画、チラシ、パンフレット等)

内部ステイクホルダー (AB、CABs、関連機関) 向け

- ・ APAC メンバー向けコンテンツの充実

外部ステイクホルダー (品質管理や法規制に関わる機関や産業界、個人) 向け

- ・ 2021 年は、医療・健康関連分野、食品分野を優先ターゲットとしてプロモーションを進める。  
例えば、WHO、ILAC、IAF、各 AB での WG を作り、どのような内容が効果的か検討する。また、APAC の他の WG と協力し、2021 年にウェビナーを数回実施する予定。

### 3-2. APAC 能力強化委員会 (Capacity Building Committee)

○オンライントレーニング実施状況

COVID-19感染拡大を受けて、今年、実施したオンライン研修として3つ (ISO/IEC 17024研修。

ISO/IEC 17065の経験共有のためのワークショップ、ISO/IEC 17025の不確かさ研修)の実施報告があった。時差や回線状況の問題はあったものの、概ね成功、参加者からは好評であった。また、遠隔審査についてのウェビナー開催の紹介がされた。

#### ○今後の予定

2020年に予定されているオンライン研修として、3つ(ISO 50003、ISO TS 22003、ICAO CORSIA)が紹介された(うち、ICAO CORSIAは2021年に延期)。

2021年事務局にて検討されているものとしては現時点では以下の通り。

- ・ ISO 17034 (RMP)、ISO/IEC 17043(PTP)【2021年2月or3月実施予定】
- ・ ICAO CORSIA (Carbon offset scheme for the aviation sector)【2021年2月実施予定】
- ・ ISO 15189+ISO 22870

### 3-2. APAC 技術委員会1 (Technical Committee) (対象：ラボラトリー、RMP、検査機関)

#### ○ リモート審査にかかる合同APAC TC1/TC2 WG

「APAC TEC0-001認定機関による遠隔審査にかかるガイダンス文書」が、APACメンバーによるコメントラウンドを経て、理事会で承認される旨、報告があった。

#### ○ バイオバンク認定

APACメンバーによる投票を通じて、バイオバンク認定が、新たにAPAC MRA認定スコープと対象となることが決定した。最終決定は、APACメンバーによる電子投票による。決定後、APAC評価員の確保を経て、各メンバーからのAPAC MRA申請を受け付けるとのことであった。

なお、TC1では、以下について同意された。

- (1) バイオバンクWGのもと補完文書の制定を行っていくこと(先ずはスコープの設定)
- (2) 各APACメンバーは、専門家のバイオバンクWGへの派遣要請

#### ○ 国際規格の改定情報、ILAC AICの活動、ISO/IEC 17011にかかるILAC/IAF FAQの紹介

- ISO/IEC 17000:2020他、国際規格の改正(作業)状況について、TC1主査より報告があった。
- ILAC/IAF FAQで回答を得るためには、どのようなルートで質問すれば良いのかAPAC事務局からILAC事務局に確認することとなった

(備考：後日、APACメンバーは、地域認定組織(APAC事務局)を通じて、ILACへ質問を行うことが確認された。)

#### ○ 技能試験WG報告

- 現在、実施されている技能試験は食品関係のみ。
- APAC PTPのウェブサイトにて2020年9月19日現在、175の認定PTPが登録されている旨、報告があった。現状では、APAC内のPTP登録に限るとのこと。

#### ○ 校正WG報告

- 校正WGの所掌について、改めて確認がなされた。前回のAPAC会議において、「TC005 Measurement Uncertainty for Testing Laboratories」の取り扱いについて、誤って当WGで判断するに至ったため。

- ILAC P14も発行されており、APAC独自で、校正事業者に対する保管文書を制定する予定はない。ただし、校正事業者に対するフレキシブルスコープの取り扱い等、いくつかの議題は挙がっているので、今後もガイダンス文書制定の可能性について探っていきたいとのことであった。

#### ○ 標準物質WG報告

- RMP認定が、ILAC MRAの対象となったことについて報告があった。今後のILACの動きを注視していきたいとのこと。
- 予定されていたRMP/PTPワークショップ現地開催が、COVID-19感染拡大を受け2回中止となつてしまった。今後、各認定機関が蓄積した経験に基づき、必要に応じて、「APAC TC008 標準物質生産者認定のためのガイダンス文書」の改訂を、ワークショップで検討していきたいとのことであった。

#### ○ 試験の不確かさWG報告

現在、ILACで制定を検討している試験所の不確かさに関するガイダンス文書については、試験報告書にどう不確かさを表記すべきかについて定めようとしているが、APAC TC005は、化学、バイオロジカル分野等どのように不確かさを算出するかを示すものと考えている。よって、主査としてはAPAC独自のガイダンス文書を制定したいと考えているが、主体的に活動していたメンバーの多くが引退してしまったため、改めてワーキングメンバーを募りたいとの提案があり、了承された。

### 3-2. APAC 総会

- 各会議の報告事項について了承された。
- 2021年予算について承認された。
- 次回、APAC 総会についてもオンラインで開催することが了承された。

以上